

# 民主島根

2018年  
**11.18**  
第1324号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## 安倍政権を終わらせ、新しい政治を 参院選・県議選勝利へギアチェンジ

### 全県議員団会議 地方議員ら26人が活動交流

日本共産党県委員会は6日、大田市で全県議員団会議を開きました。地方議員、機関役員ら26名が参加し、統一地方選勝利を前面に「比例を軸」にすえた参院選躍進に向けての取り組みや議会活動を交流しました。

後藤勝彦委員長は5日中総決意を踏まえ、「臨時国会も始まり党に熱い期待が寄せられている。宣伝で党の風を吹かせ、選挙勝利へ『ギアチェンジ』を」と呼びかけました。

尾村利成、大國陽介の両県議が県議選に向けた決意を述べるとともに、県議会決算特別委員会で要求した医療や子育て、教育、雇用、農業など各分野における県内自治体の施策状況を報告しまし



活動交流する地方議員、機関役員メンバーら（大田市）



尾村利成、大國陽介、岩田剛、東部地区委員長ら

参加者からは「850万票、15%以上」の得票目標について納得がいくまで議論して地区全体のものにしたい。引き続き

き、支部とともに党勢拡大に打って出たい」「楽しく元気の出る支部会議を広げ、定着できるように努力していきたい」などの決意が語られました。

は「島根原発は絶対に動かしてはならない。頑張ってください」と話しました。

憲法を守り生かす共同センターは9日、JR松江駅前「憲法9条を守り、憲法をくらしに生かす3000万人署名」に取り組みました。(写真)

5団体から10名が参加し、しほね労働の池場哲哉事務局長が「憲法改正を發議できるのは国会

とともに、松江市内（島根町、美保関町、本庄町など）を遊説してまわりました。(写真)

尾村県議は、くらしと平和、原発再稼働をすすめる安倍政権の政治が大破綻に陥っていると指摘し、「市民と野党の共闘の力で安倍政権を退陣に追い詰めよう」と訴えました。

演説を聞いていた男性は「これまで党名にアレルギーがあったが、これからはブレない共産党を応援する」と語り、女性

36筆の署名が寄せられました。次回の行動は11月19日に計画されています。

### 民青が党地区委と懇談 共同事業として民青増やそう



民青同盟県委員会は3日、23日から始まる「第42回全国大会」に向け、県代表者会議を開きました。日本共産党の尾村利成県議があいさつしました。

会議では、日ごろの活動を交流しながら全国大会決議案を討論。今年4月から医療職場で働く同盟員は「働き始めてから原発について考えるようになり、社会のことを考

えたいと加盟した。私と同じように考えるきっかけを求めている青年はたくさんいる」と加盟の思いとともに、模索する青年の様子を語りました。吉井安見県委員長は討論のまとめで、「新しい社会を模索する大きな流れのなか民青が待たれている。今こそ青年の中に踏み出し大きな民青をつくろう」と呼びかけました。民青は党の各地区委員会と懇談し、仲間を増やすために共同事業として力を合わせることを確認しました。(写真)

### 鼓動

“津和野を歩かずして、島根を見てきたと云うなれ”。「新しい松江」の編集の仕事辞めて時間も出たので、念願だった津和野泊二日の小旅行に出かけた。深まる秋の小雨がそぼふる中、歴史の香りが漂う町並みを心行くまで満喫できた▼津和野駅に降り立つと眼前に、白壁造りの「安野光雅美術館」があり、高い天井の玄關ホールとゆったりとした展示室や昔の木造教室、プラネタリウムも設けられていた。科学・数学・文学などに造詣の深い安野さんの作品はどれも旺盛な好奇心と想像力の豊かさを感ぜさせるものばかり▼本町通り、殿町通りには江戸期から続く商家や武家屋敷が並び、白壁塀に沿って流れる堀割には、色鮮やかな大きな錦鯉がゆったりと泳いでいた。藩校養老館、郷土館、森岡外や西周の旧宅さらに禅寺「永明(ようめい)寺」などどれも心に残る旧蹟だった▼翌朝早くホテルを出て訪れた乙女峠のマリア聖堂。そこで出会った掃除をしていた老婦人の一言が脳裏にこびりついている。この地は、1873(明治6)年、宗教の自由が認められるまで、改宗を迫られた長崎のカトリック信徒が幽閉され、残酷な拷問を受けた地である▼「大変な受難でしたね」と声をかけると、その老婦人は「私もキリシタンの末裔ですが、殉教した乙女たちは、信仰心を貫いて天に召されたことを誇りに思っていたのではないでしょう。か。何人も信仰を力でねじ伏せることはできません」とキツパリ。この時、冒頭の想いとともに「ああ津和野に来てよかった」と改めて思った。(吉)